

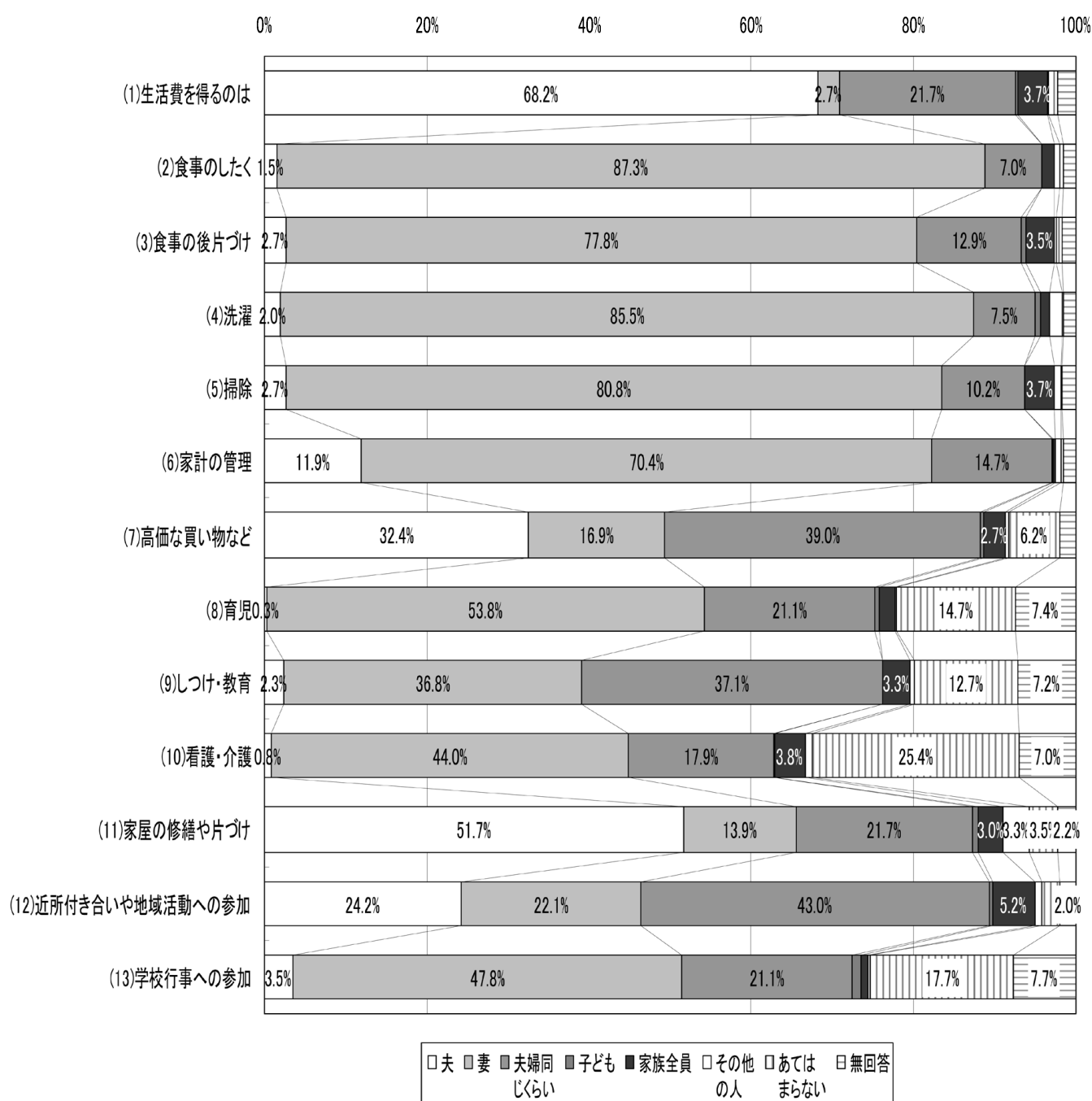
2. 家庭生活について

問3 【現在、結婚（事実婚を含む）されている方に伺います】

あなたの家庭では、次の(1)から(13)について、主にだれが役割を分担していますか。（それぞれ1つに○）

夫の役割としては、「生活費を得る」、「高価な買い物」、「家屋の修繕や片づけ」、「近所づきあい」が多くなっています。妻の役割としては、「食事のしたく・片づけ」、「洗濯・掃除」、「家計の管理」、「育児」、「看護・介護」、「学校行事への参加」が多くなっています。

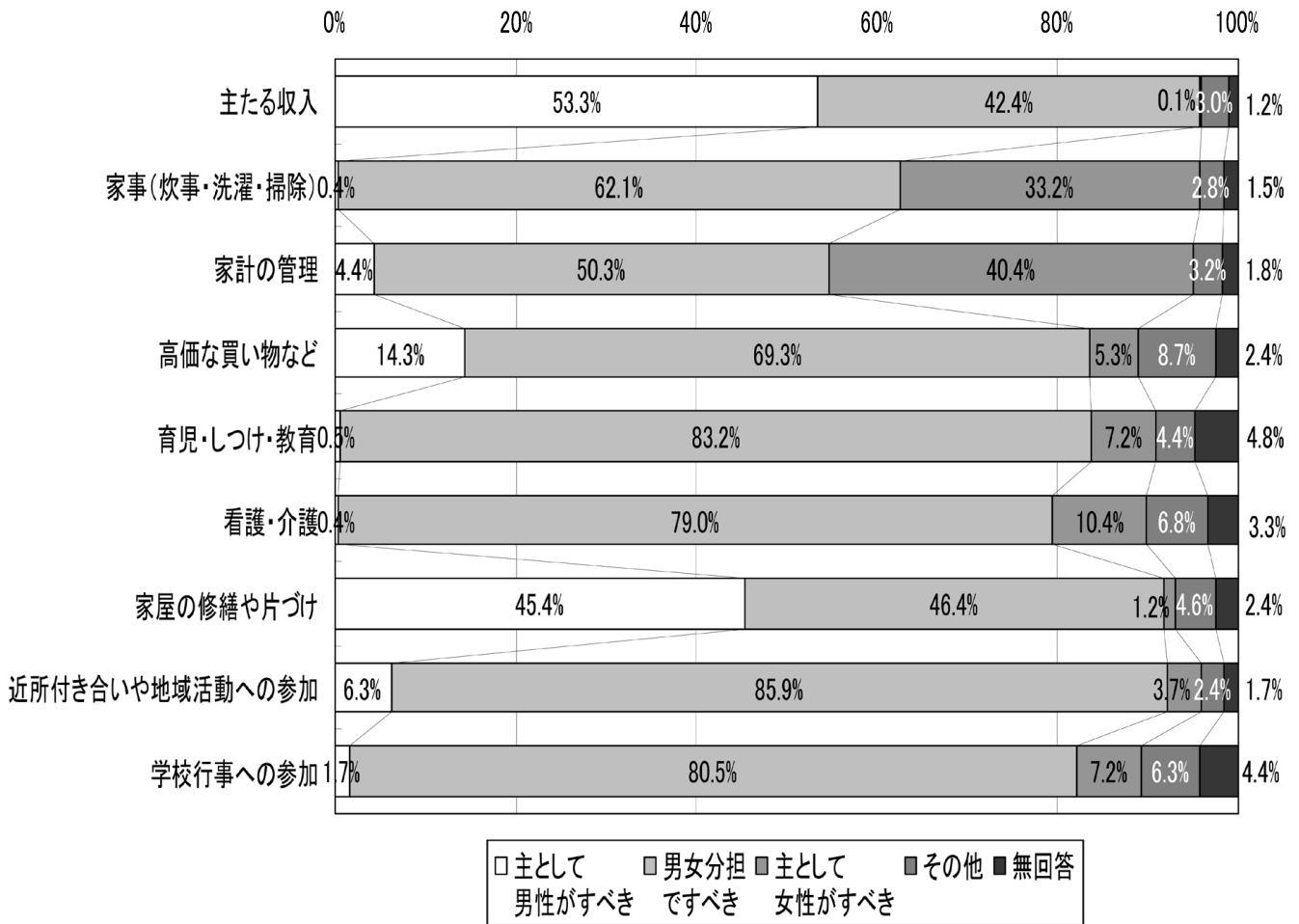
また、夫婦同じくらいという回答が多い項目は、「高価な買い物」、「しつけ・教育」、「近所付き合い」、となっています。



問4 【全員の方に伺います】

あなたは、次の家庭内の役割について、どのように分担するのが理想だと思いますか。(それぞれ1つに○)

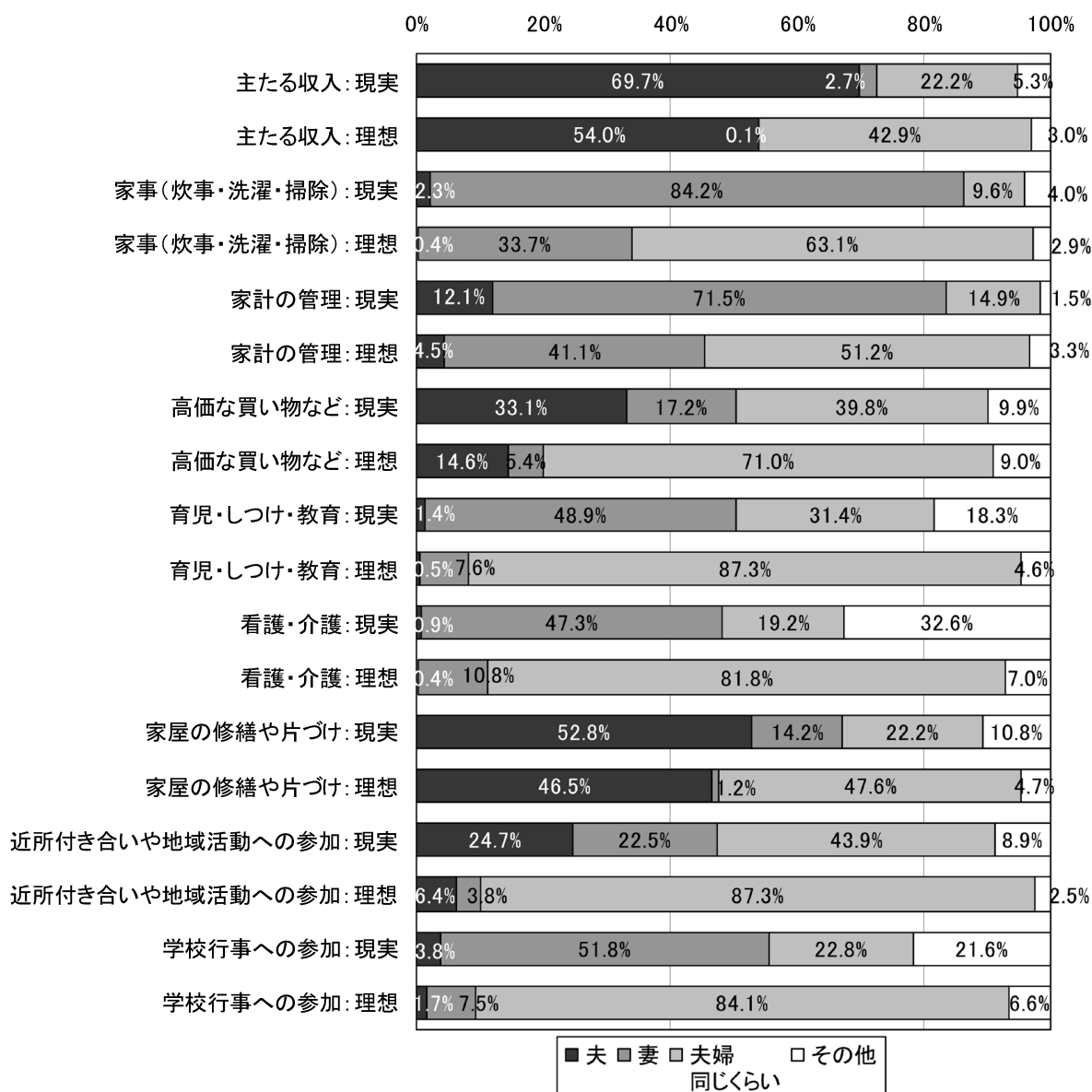
男性の理想的な役割としては、「主たる収入」、「家屋の修繕や片づけ」と回答した人が多くっており、妻の理想的な役割は、「家事（炊事・洗濯・掃除）」、「家計の管理」と回答した人が多くなっています。「主たる収入」以外の項目については、「男女で分担すべき」という回答が最も多くなっています。



問3・4：家庭内の役割分担について（役割分担の現実と理想）

家庭内の役割分担について、問3の現実と問4の理想による比較では、すべての項目において、「夫婦同じくらい」という回答が多くなっています。特に、「家事」、「高価な買いもの」、「育児・教育・しつけ」、「看護・介護」、「近所づきあい」、「学校行事への参加」において、その傾向が大きくなっています。

役割分担の理想と現実



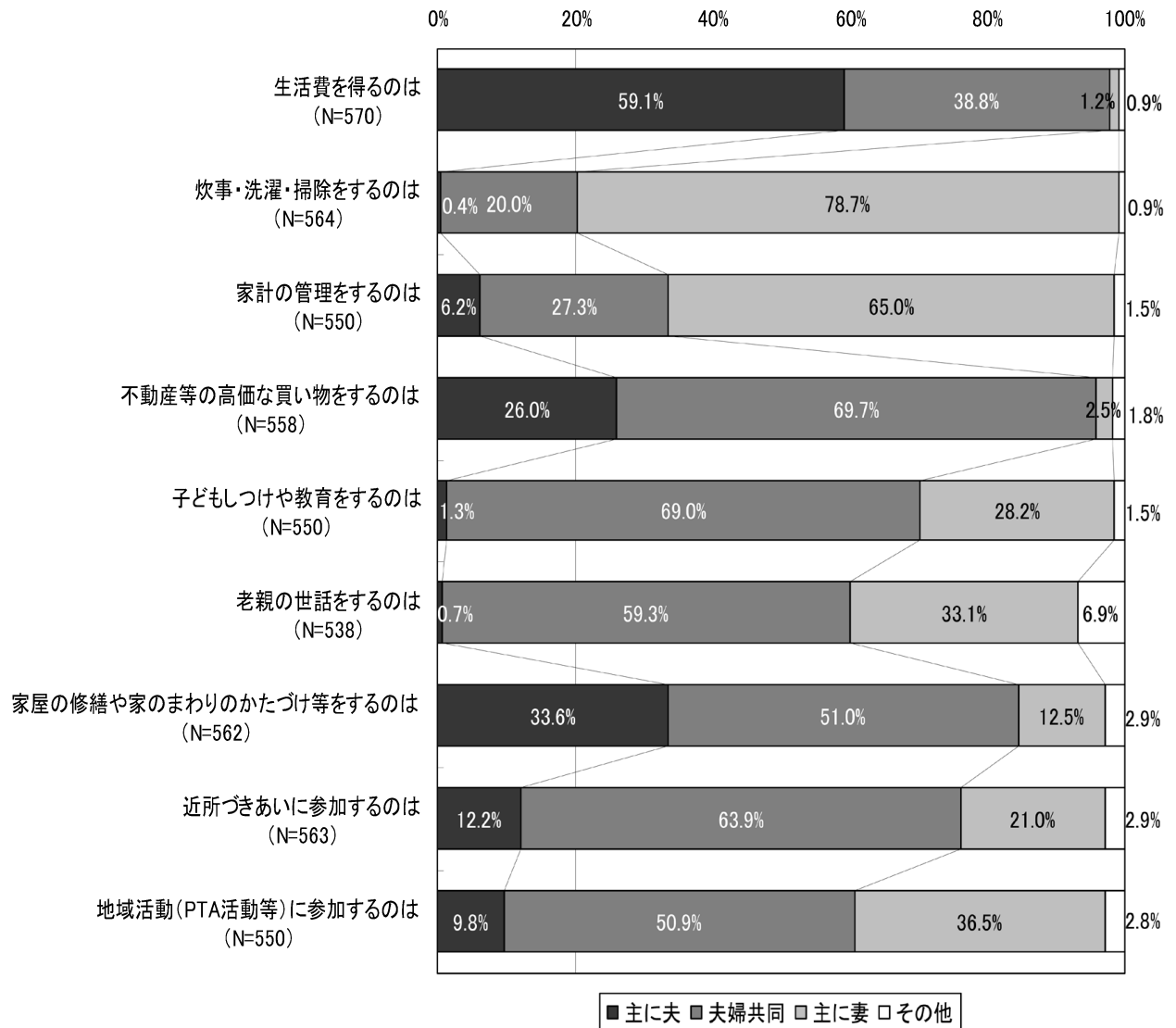
※家事（炊事・洗濯・掃除）：現実については、問3の「食事のしたく」、「食事の片づけ」、「洗濯」、「掃除」を合計しています。

※育児・しつけ・教育：現実については、問3の「育児」、「しつけ・教育」を合計しています。

※無回答者を除いて集計しているため、問3、問4のグラフとは若干割合が違います。

【参考：平成10年調査】

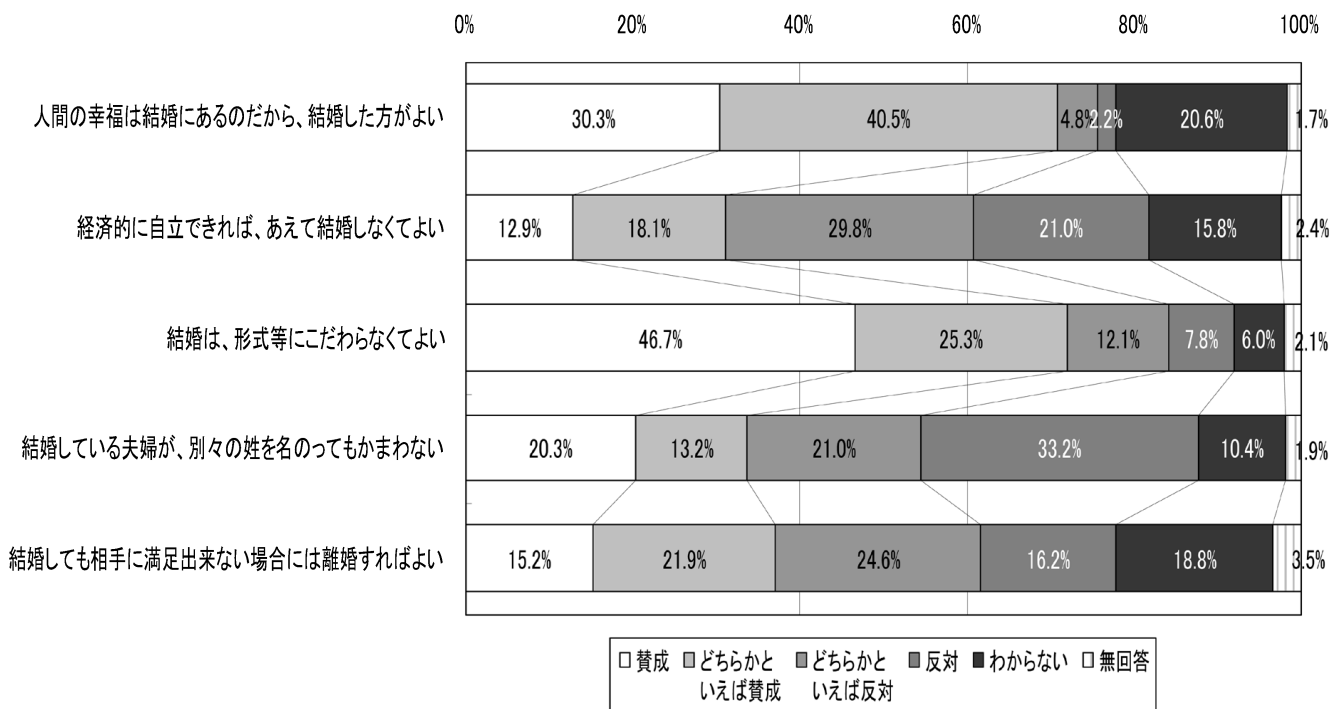
問 あなたは、夫婦の役割分担についてどのようにしていますか。1つずつ選んでください。（未婚の人、お子さんのない人もお考えをおきかせください。）



問5 あなたは、結婚についてどう考えますか。次の（１）～（５）のそれぞれについて、あなたの考えに近いものを選んでください。（それぞれ１つに○）

「賛成」、「どちらかといえば賛成」という人が多い項目は、「結婚は、形式等にこだわらなくてよい」、「人間の幸福は結婚にあるのだから、結婚した方がよい」で、それぞれ、72.0%、70.8%となっています。

逆に反対意見「反対」「どちらかといえば反対」が多いのは、「経済的に自立できれば、あえて結婚しなくてよい」、「結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない」で、それぞれ、50.8%、54.2%となっています。



■ 「その他」の回答

○結婚について

- ・結婚はお互いに理解しあっていればよいと思います。夫婦で理解しあえないようでは他の人と理解しあうことが難しい。
- ・若い時は独身で良いと思っていても、年をとって介護が必要な時の事まで考えるべきだと思う。
- ・昔のように結婚＝幸せではないから社会で活躍している女性がいても良いと思う。
- ・幸福云々は人それぞれなので（１）の質問は答えかねる。
- ・結婚しても辛い人は多い。
- ・結婚がすべてではないと思う。結婚してなくても幸せな人はたくさんいる。
- ・経済的自立は関係ない
- ・精神的に又経済的に自立した上での結婚が望ましい。

- ・結婚したければすれば良いし、したくなければしなくていい。近所の人や社会にある固定概念に納得いかない。
 - ・結婚したら子どもを産まなければならないという考え方に反対。
 - ・結婚は、その時は二人の問題だが、現実には夫婦同士の親がでてくるから大変だと思う。
 - ・好きにすれば良い、私はしないが。
 - ・種の保存の考え方。(子ども達)
 - ・結婚して子どもを産まなければ、老後自分達を見てくれる人が居なくなる。お互いに来る事は助け合い我慢も必要である。
 - ・本人(個人の)自由かと思う。
 - ・個人の自由意見。
 - ・楽観的な人が少なくなった。
 - ・沼田市は男女の出会いの場が少ないと思う。若い人たち(青年団)の出会いを多くしないと近い内に未婚が多くなると思う。アンケート等取る前に市は役人の心をすてて、市民のことを考えるべきである。又沼田は仕事場が少なすぎる。
 - ・人それぞれ考え方が違うので1日では決められない。
 - ・個人の問題なのでわかりませんが、少子化を減らすには、形式うんぬん言うてはいられないと思います。
 - ・いくつになってもお互いを思いやれないと続かない。
 - ・結婚し子育てしながら、社会、地域、習慣、風習など改めて知見の狭さを痛感した。
 - ・子どもを育ててみないと、人として育っていかないと思う。
 - ・男女共に少々のがまんが必要な。
 - ・自分や相手次第で成長できる事。ダメにしていく事。それぞれだと思う。選ぶのは本人。
 - ・結婚願望はあまりありませんが、もしすることになったら、きちんと向き合える夫婦になりたいです。
 - ・昔と違って、結婚だけではない世の中なのだと感じる。
 - ・他人、身内に迷惑をかけなければ、結婚は自由。
 - ・対等につながりあえることが大切。
 - ・結婚したくない男女が増加している傾向は問題だ。
 - ・結婚はひかれあった同志が共に認め合い助け合いながらお互い1日でも多くの日を楽しくすぞす努力しながら生きてゆくための第一歩です。
 - ・核家族の増加。
 - ・結婚とは子どもをつくり、相手のためにどれだけ自分が尽くすことができるかだと思います。
- 夫婦別姓について
- ・夫婦別姓は仕事柄で必要な方はその方がよいと思う。
 - ・夫婦に関しては別姓でも、結婚形式にこだわらなくてもいいが、子供の養育上非現実的

に思う。

- ・ 人類の未来の為、結婚は必要であり、家族という組織をはっきりさせる為に別姓はやるべきではない。思いやりをもった総合環境作りが必要。
- ・ 夫婦別姓は日本の文化や習慣等を壊すと思う。
- ・ 夫婦の都合で別姓を名乗ったりしたら、子どもがいる場合は困難を招くと思う。
- ・ 結婚について軽く考えすぎている＝すぐ離婚。
- ・ 結婚したら男性の姓になり、男性の家の墓に入ると言うことに不満を感じる。

○離婚について

- ・ 今の若い人達は、がまんが足りないと思います。わがまますぎる。
- ・ 子どもがいる人の離婚は子どもがかわいそうだと思う。
- ・ 子どもが夫婦にいれば子どもの幸せを思うのが一番で家族が大切になるから、お互いに満足できないから、あきたから離婚するのは浅はかすぎます。
- ・ どうしても時は離婚してもいいと思うが、安易にはいけないと思う。十分に話し合いや努力をしてから決断すべき。
- ・ 余程の事があって離婚するのではないのか、満足とはどの程度のものなのかわからない。
- ・ 離婚は経済的に生活出来ることが前提。
- ・ 自立して生活できれば、一生がまんする事はないと思う。
- ・ 子どもに悪い影響しか与えないから離婚も仕方ないでしょうか？
- ・ 離婚は簡単ではないと考える。(いろいろなしがらみがあるため)
- ・ 満足して結婚して、何かあって離婚。それは許せない。その上手当を受けるとは。
- ・ 相手への不満足ではなく家族の同意が必要。
- ・ すぐに離婚という形をとるのは(DVなどは別として)あまり良くない。好きで結婚したのだから、お互い思いやる気持ちを持てばそのような結果にならないのでは・・・。
- ・ 子どもがいる場合、相手に満足できなくても子どもの幸せを考えて離婚すべきでない。
- ・ 暴力や家庭に生活費を入れないなどであれば離婚も仕方ないと思う。
- ・ 子供の気持ちを優先的に考えて欲しいと思います。

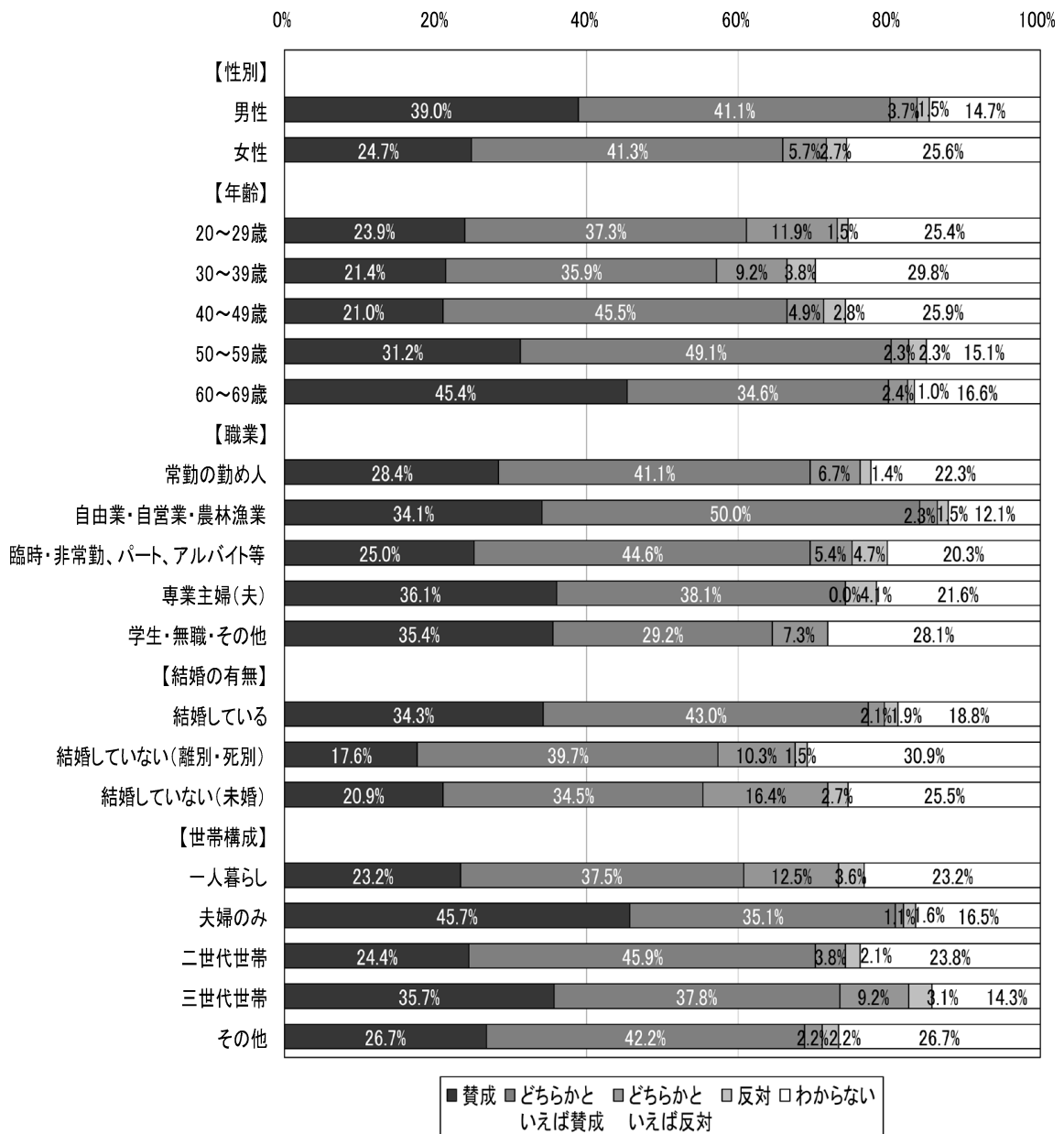
○その他

- ・ 男女共同参画社会の実現という考え方そのものに反対である。

問5：結婚について (1)人間の幸福は結婚にあるのだから結婚した方がよい (属性別)

【性別】では、女性よりも男性の方が賛成意見が多く、「女性はわからない」という回答が多くなっています。【年齢】では、年齢が上がるにつれ、賛成意見が多くなる傾向があり、若年層ほど、「わからない」という回答が多くなっています。【職業】では、自由業・自営業・農林漁業の人で賛成意見が多くなっています。【結婚の有無】では、既婚者は賛成意見が多くなっていますが、離別・死別の人、未婚者では少なくなっており、「わからない」という回答も多くなっています。【世帯構成】では、一人暮らし世帯においては、他の属性から比べると賛成意見が少なくなっています。

人間の幸福は結婚にあるのだから、結婚した方がよい



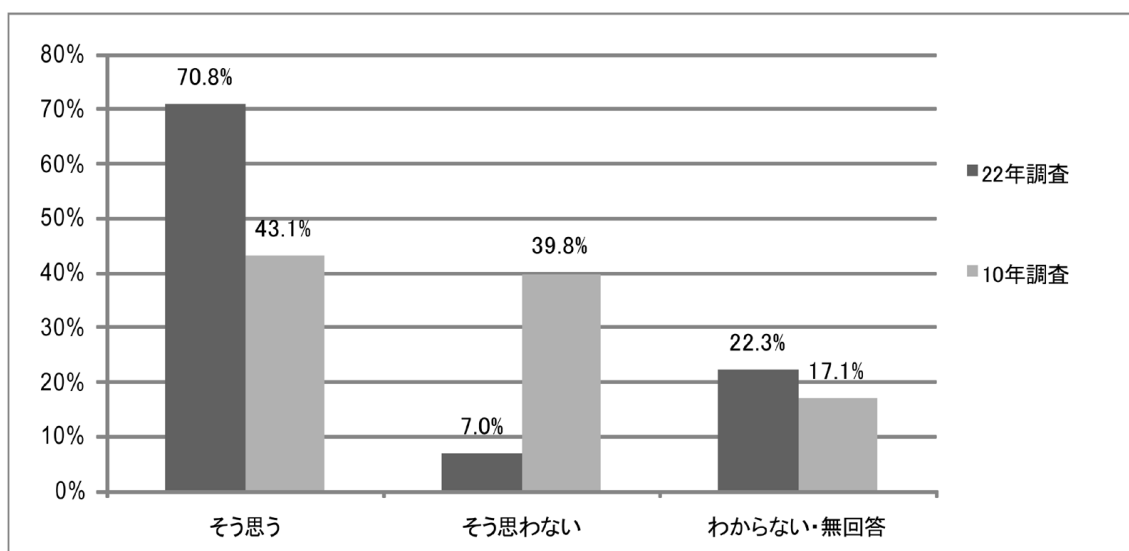
【前回調査との比較】

前回調査（平成 10 年）と比較すると、今回の調査の方が「そう思う（賛成、どちらかと言えば賛成）」という人が増え、「そう思わない（反対・どちらかと言えば反対）」という人が減っています。

(1)人間の幸福は結婚にあるのだから結婚した方がよい

(%)

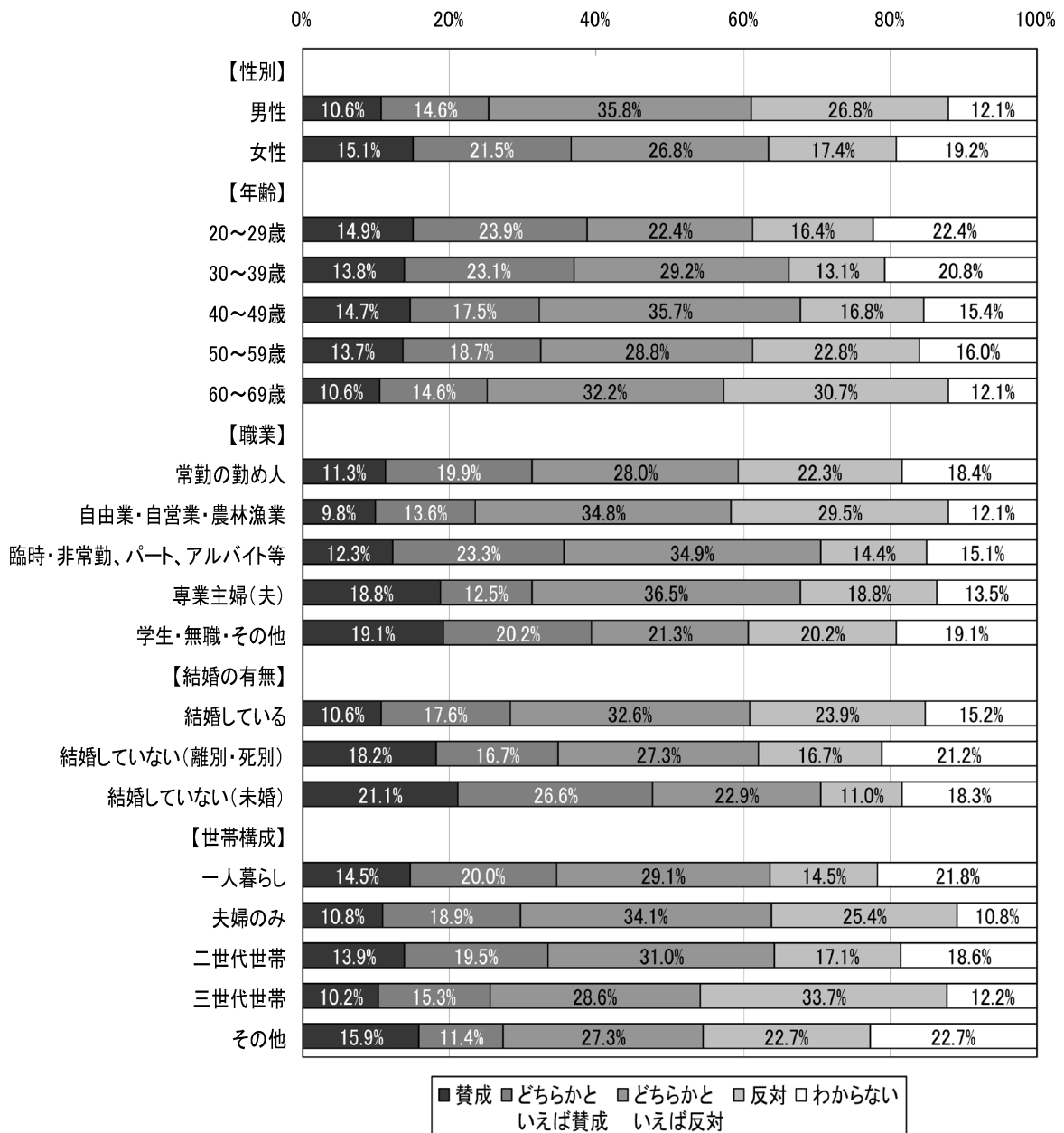
	そう思う(賛成・どちらかと言えば賛成)	そう思わない(反対・どちらかと言えば反対)	わからない・無回答
22年調査	70.8	7	22.3
10年調査	43.1	39.8	17.1



問5：結婚について (2)経済的に自立できれば、あえて結婚しなくてもよい (属性別)

【性別】では、男性よりも女性の方が賛成意見が多く、男性は反対意見が多くなっています。【年齢】では、年齢が上がるにつれ、賛成意見が少なくなり、反対意見が多くなっています。20歳代、30歳代では、「わからない」という回答も多くなっています。【職業】では、自由業・自営業・農林漁業の人で反対意見が多くなっています。【結婚の有無】では、既婚者は反対意見が多く、離別・死別の人、未婚者は「わからない」という回答が多くなっています【世帯構成】では、夫婦世帯、三世帯世帯で反対意見が多く6割近くの人が反対しています。

経済的に自立できれば、あえて結婚しなくてもよい



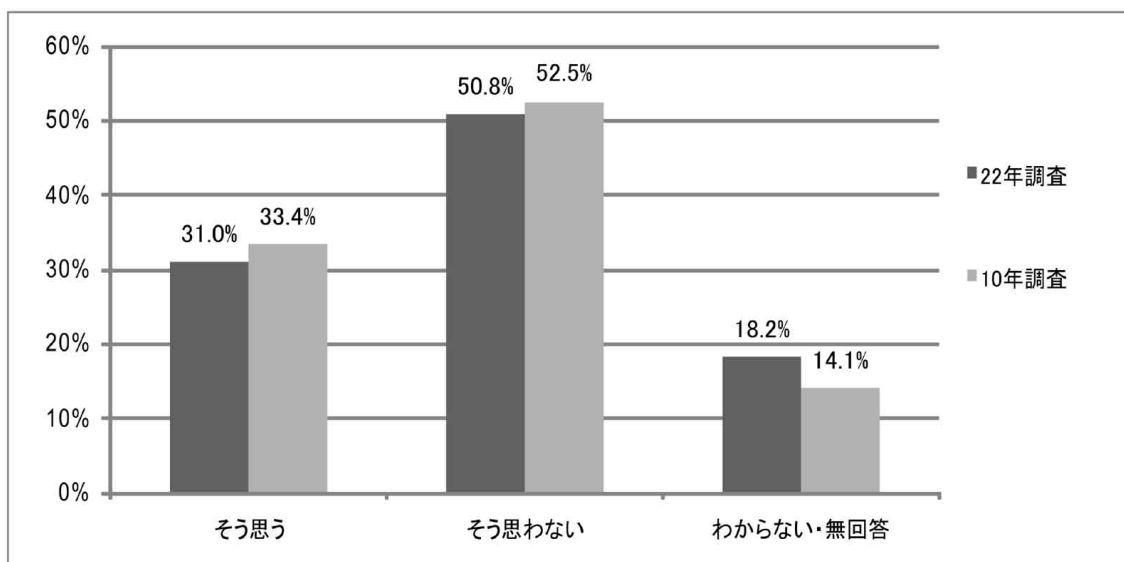
【前回調査との比較】

前回調査（平成10年）と比較すると、今回の調査の方では「そう思う（賛成、どちらかと言えば賛成）」という人と、「そう思わない（反対・どちらかと言えば反対）」という人が若干減って、「わからない・無回答」と回答した人が増えています。

(2) 経済的に自立できれば、あえて結婚しなくてよい

(%)

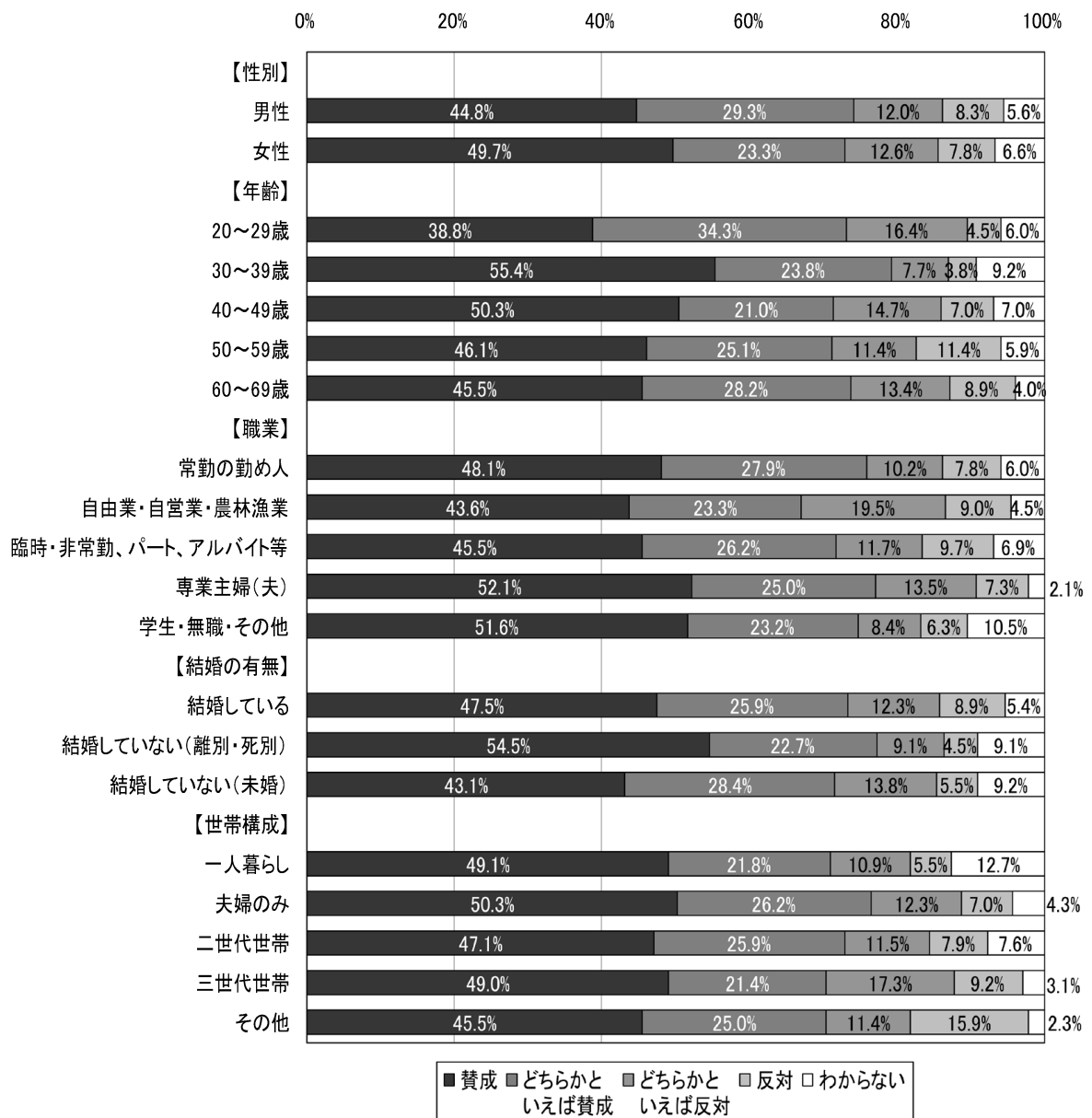
	そう思う(賛成・どちらかと言えば賛成)	そう思わない(反対・どちらかと言えば反対)	わからない・無回答
22年調査	31	50.8	18.2
10年調査	33.4	52.5	14.1



問5：結婚について (3)結婚は、形式等にこだわらなくてよい(属性別)

【性別】では、男女とも賛成・反対の意見がほぼ同様の数字となっています。【年齢】では、特に30歳代の賛成意見が多くなっています。【職業】では、自由業・自営業・農林漁業、パート・アルバイトの人は賛成意見が少なくなっています。【結婚の有無】では、離別・死別の人は賛成意見が多くなっています。【世帯構成】では、他の属性から比べると三世帯世帯、その他世帯で反対意見が多くなっています。

結婚は、形式等にこだわらなくてよい



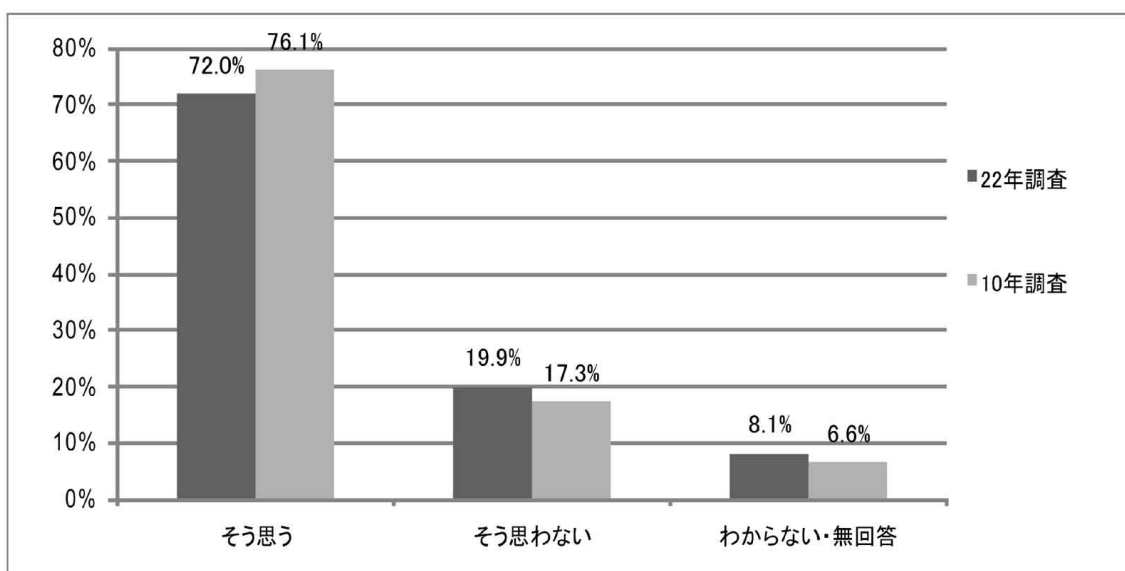
【前回調査との比較】

「結婚は、形式等にこだわらなくてよい」ということについて、前回調査（平成10年）と比較すると、今回の調査では「そう思う（賛成、どちらかと言えば賛成）」という人が減り、「そう思わない（反対・どちらかと言えば反対）」という人が増えています。

(3) 結婚は、形式等にこだわらなくてよい

(%)

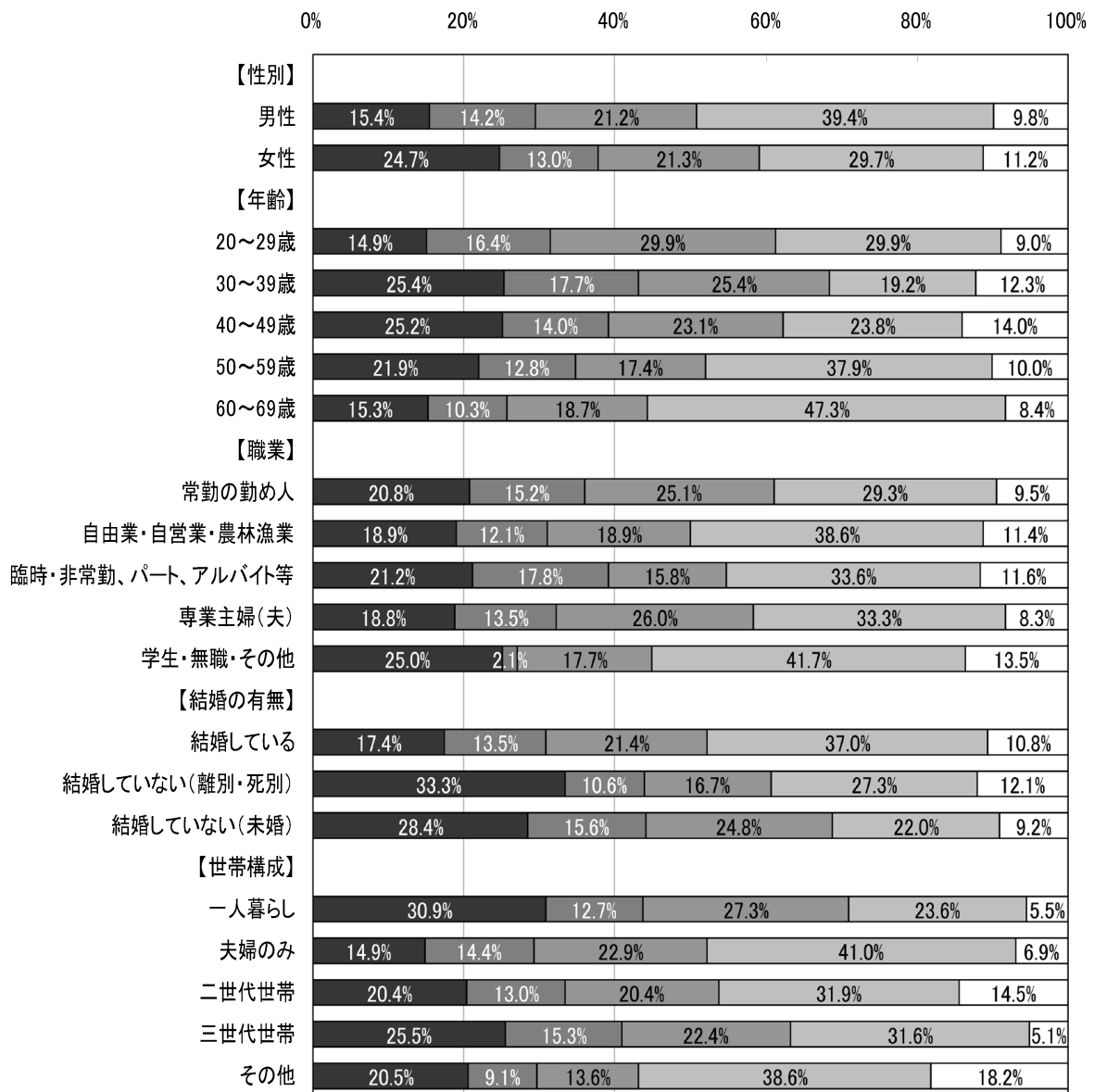
	そう思う(賛成・どちらかと言えば賛成)	そう思わない(反対・どちらかと言えば反対)	わからない・無回答
22年調査	72	19.9	8.1
10年調査	76.1	17.3	6.6



問5 :結婚について (5)結婚している夫婦が別々の姓を名のってもかまわない(属性別)

【性別】では、男性よりも女性の方が賛成意見が多く、男性は6割以上の方が反対しています。【年齢】では、年齢が上がるにつれ、賛成意見が少なくなり、反対意見が多くなっています。しかし、20歳代は賛成意見が少なく、反対意見が多くなっています。【職業】では、専業主婦(夫)、学生・無職で半数以上の方が反対しています。【結婚の有無】では、既婚者は反対意見が多く、離別・死別の人、未婚者は賛成意見が多くなっています。【世帯構成】では、一人暮らし世帯、三世帯世帯で賛成意見が多くなっています。

結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない



■ 賛成 ■ どちらかと いえば賛成 ■ どちらかと いえば反対 □ 反対 □ わからない

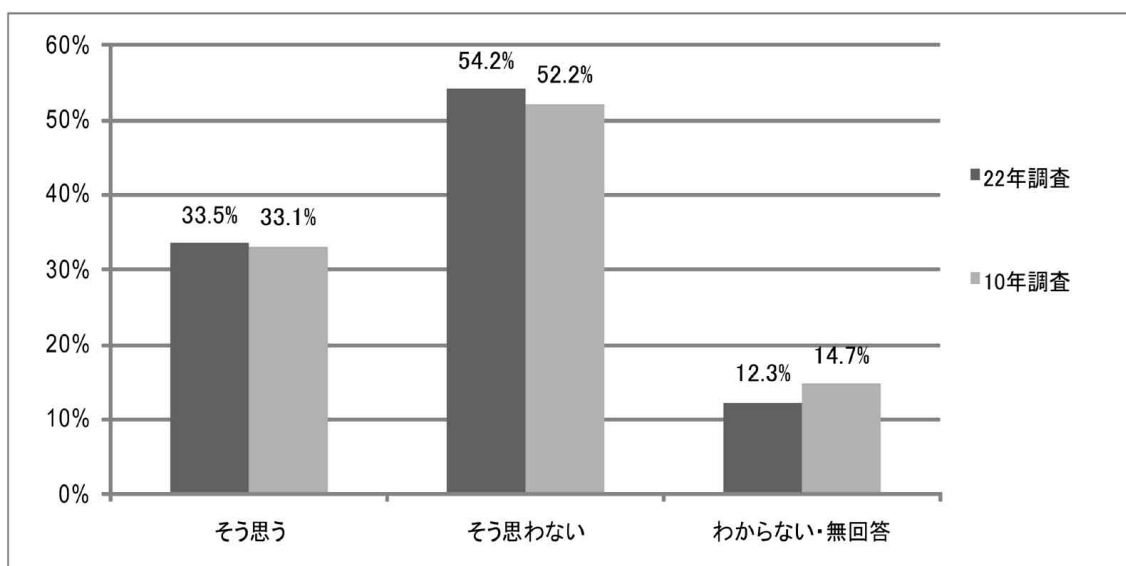
【前回調査との比較】

「結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない」ということについて、前回調査（平成10年）と比較すると、今回の調査では、「そう思わない（反対・どちらかと言えば反対）」という人が増えています。

(4)結婚している夫婦が、別々の姓を名のってもかまわない

(%)

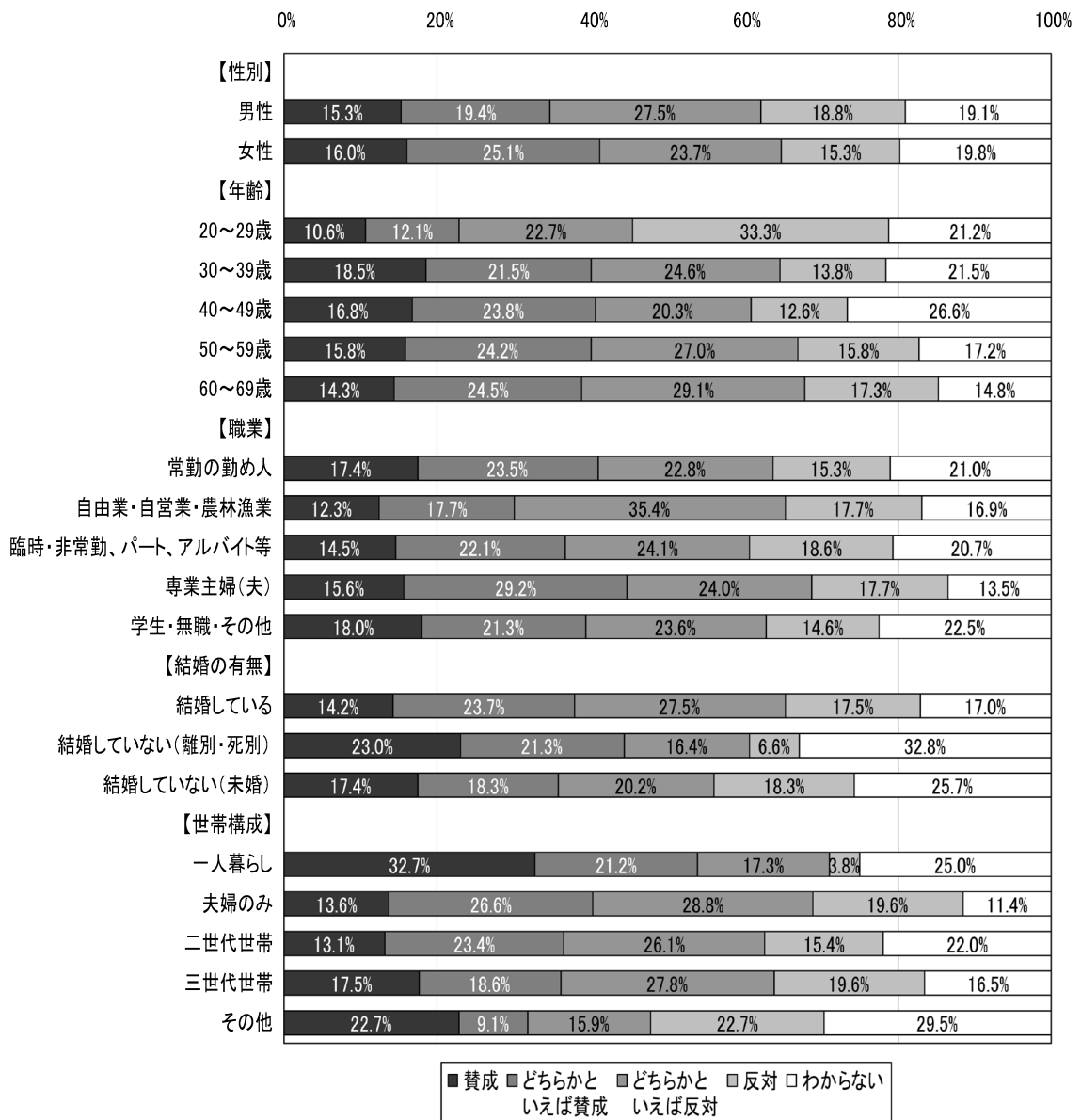
	そう思う(賛成・どちらかと言えば賛成)	そう思わない(反対・どちらかと言えば反対)	わからない・無回答
22年調査	33.5	54.2	12.3
10年調査	33.1	52.2	14.7



問5 結婚について(5)結婚しても相手に満足できない場合には離婚すればよい(属性別)

【性別】では、男性よりも女性の方が賛成意見が多くなっています。【年齢】では、年齢が上がるにつれ、賛成意見が少なくなり、反対意見が多くなっています。しかし、20歳代は賛成意見が少なく、反対意見が多くなっています。【職業】では、自由業・自営業・農林漁業の人の賛成意見が少なく、反対意見が多くなっています。【結婚の有無】では、既婚者、未婚者は反対意見が多く、離別・死別の方は賛成意見が多くなっています。【世帯構成】では、一人暮らし世帯で賛成意見が多くなっており、夫婦のみ、二世帯世帯、三世帯世帯では反対意見が多くなっています。

結婚しても相手に満足できない場合には離婚すればよい



※この設問は前回調査には含まれていなかったため、前回調査との比較表はありません。

【参考：平成10年調査】

問 あなたは、結婚についてどう考えますか。1つずつ選んでください。

